

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B ⁺
建物名称	公営住宅(東雁来団地3号棟)	総合評価	★★★★★	★★★★★	★★★★★
建物用途	集合住宅				
延床面積	3,623.85 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3 設計上の配慮事項とCASBEEスコア	
A 省エネルギー 合計 19点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 4.0 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア 4.0 LR1 自然エネルギー利用
	LR1 設備システムの高効率化
	LR1 効率的運用
B 省資源等 合計 15点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	LR3 地球温暖化への配慮
	LR3 地域環境への配慮
C 緑化 合計 10点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0
D 雪処理 合計 3点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR3 地域環境への配慮
	スコア 2.0

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
各住戸には全熱交換器を設置している。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
	敷地内に緑化率40%程度の緑地を確保している。	集積スペースを確保し、敷地外へ雪を出さないように配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される